

（日六十二月二十年刊夕）



休 日 曜 大 祭 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日
一 部 月 廿 五 日

静かにかへりみる

平町の既往一ケ年

いくつかの貢目を残し
斯くて三一年は去り行く

師走となつて平町の既往一ケ年を振り返つて見るとそこには精神的にも物質的にも多くの貢目を残して来た、之等の幾つかを一々論議して見る。

恨めしい平署跡

元警察署跡敷地三百七十坪これを縣から拂ひ下げて子供達の遊び場にしたといふ計畫は昨年越しの懸案であつたが縣の云ひ値坪當り百圓に手が出さずおぢやんになつて了つた、けれ共幸ひ縣の計畫で該敷地の内約四丁坪は道路に編入されることになつたので平町でも幾分か面目が立つたわけだ

聚樂館道路擴張

聚樂館わきから材木町及欣洋寺通りに連かる二間道路を四間にする計畫は昨年既に八十間の區間に對し土地買収費其他合計二千圓の豫算だけは計上してあるが遂に手もつかず

南町裡は漸く 欣洋寺側から公會堂入口に至る

欣洋寺側から公會堂入口に至る新線開通の豫定であつたが

平町で貧困兒童に

一人當り五十錢位程度でシヤツ、襦袢、股引の類を

賀状書き中止

紹介所名案無し
平町職業紹介所では年末の賀状書きを中止した

第二校道路問題

今度年を越せば四年越しに決定してゐない、水害の日通學兒童の難澁や火災時の不便などを真向の理由に地元ではわい／＼騒いで此程四度目の陳情書を出した

役場新廳舎問題

大平町の役場廳舎新築敷地は共済病院側に立派な土地

平小鐵道促進陳情

今議會開會中に請願すべく
地元有志が寄々協議中

平、小名濱間に新設される平小鐵道線はさきの出中政友の閣内閣時、昭和六年に決まるとなつてゐたが今度の政友内閣成立に氣を得た地元有志は今度こそはどうか

平町で貧困兒童に

一人當り五十錢位程度でシヤツ、襦袢、股引の類を

平署歳末警戒

不正商人取締り
平署では本年も各校の調査による左記六十九名へ平署では愈々年押迫つたの

名刺交換會の出席者減る

平町役場では既報の通り一月一日新年祝賀並に名刺交換會を開催すべく日下出席者の勧誘中であるが申込みが遅いので廿六日各區長宛に督促書を送り、同時に引渡をなすと

好奇心にかられ

十才の少年が放火
小野田炭礦長屋再度の出火
警備村小野田炭礦長屋の空した同人は過般の出火の家から廿六日午後五時半ごろ際近民が右往左往する様を發火した折柄の豪雨を見て好奇心にかられこの大學に至らず附近の者が消火の火を引つたもので止めたが放火の疑あるのあつた

樽盗人

前科二犯の男
廿六日午後九時ごろ内郷村御座地内を二斗入空樽をせおつて徘徊する男を平署員が怪しとらみ取調べると右は同村綴窃盜前科二犯西川龜太郎(五二)で青物漬け用として御座一丸木津某から窃取したものとなり引つゞき取調べ中

民謠 平小唄の懸賞募集

第二面の廣告を御らん下さい

地球週轉記(七)

地球 牛
十一月十六日 第二次世界大戰が受胎したのがあるまの事だ

平稅務署異動

平稅務署では左の通り異動

一九三二年

地球 牛
十一月十六日 第二次世界大戰が受胎したのがあるまの事だ

青森、岩手へ 金二十圓

平町同調會で
同村大字上湯長屋字力九平町同調會では青森、岩手五江名町大字上向一二生れ縣下の凶作苦に對し協賛の加藤勇三(三〇)假名を引致取結果兩縣へ各十圓宛に務部調べた、同人の所爲と判明宛に此程寄贈した

河川改修着工

玉川村失救事業
玉川村に於て歳末失業救済事業として工費八千二百七十五圓(内縣費補助三千九百三十圓)で地債した同村大字大原南宮岡字曲淵地内の矢田川筋河川改修工事は

社告

本號を以て本年の最終刊といたします
去る廿五日から着手し竣工は明春三月末の豫定である

これはまた珍らしい

師走といふに櫻が咲く
小川村下柴地内の賑はひ
正月もあと五日に迫つたけにしても變つた話
ふこの頃これは亦どうした大候の香狂はせか小川村大字下小川字下柴地内にある櫻の蕾がにはかにふくらみ始めボツ／＼赤い花片を見せ出したので部落民は何の前兆かと怪しんでゐるが之を傳へかけた平町の物好き理中は自動車に乗つて季節はづれの花見としゃれ込む者も多くなりなればはひを以てする向この天候で順調に行けば元日は満開の件は近來にあるまい、九月卅日の聯誼會で日本軍

地球週轉記(七)

地球 牛
十一月十六日 第二次世界大戰が受胎したのがあるまの事だ

平稅務署異動

平稅務署では左の通り異動

一九三二年

地球 牛
十一月十六日 第二次世界大戰が受胎したのがあるまの事だ

青森、岩手へ 金二十圓

平町同調會で
同村大字上湯長屋字力九平町同調會では青森、岩手五江名町大字上向一二生れ縣下の凶作苦に對し協賛の加藤勇三(三〇)假名を引致取結果兩縣へ各十圓宛に務部調べた、同人の所爲と判明宛に此程寄贈した

河川改修着工

玉川村失救事業
玉川村に於て歳末失業救済事業として工費八千二百七十五圓(内縣費補助三千九百三十圓)で地債した同村大字大原南宮岡字曲淵地内の矢田川筋河川改修工事は

社告

本號を以て本年の最終刊といたします
去る廿五日から着手し竣工は明春三月末の豫定である

樽盗人

前科二犯の男
廿六日午後九時ごろ内郷村御座地内を二斗入空樽をせおつて徘徊する男を平署員が怪しとらみ取調べると右は同村綴窃盜前科二犯西川龜太郎(五二)で青物漬け用として御座一丸木津某から窃取したものとなり引つゞき取調べ中

民謠 平小唄の懸賞募集

第二面の廣告を御らん下さい

河川改修着工

玉川村失救事業
玉川村に於て歳末失業救済事業として工費八千二百七十五圓(内縣費補助三千九百三十圓)で地債した同村大字大原南宮岡字曲淵地内の矢田川筋河川改修工事は

社告

本號を以て本年の最終刊といたします
去る廿五日から着手し竣工は明春三月末の豫定である

着手に當る際の注意 (三)

果樹 丁度果実病の発生が初ま
るのは六月の梅雨期からで
七、八月が最も甚だしく九
月に達入つて幾分少くとな
り十月に入れば殆んど停止
する故にポールド液撒布は
六、七月降雨前後に特に注
意してかけねばならぬ。廿
世紀は元來ポールド液に對
する抵抗力が強いから袋掛
前のポールド液は過石灰の
五斗式以上にする必要があ
る五月下旬四斗式の過石灰
ポールド液で果實には相當
の被害を被つて居るから之
れが撒布には充分の注意を
要する。石灰倍量の五、六
斗式なれば六斗式であるま
い葉は殆んど被害はないか
ら袋掛後は幾分強くしても
差支ないが強くして少なく
撒布するよりは弱くして回
數多く適度に撒布が、
位の程度)にさん布するの
が最もよい様である袋は二
重袋にするか開袋を輪液に
浸けた袋を用ひた方がよい
開袋を輪液は調合液が一寸
困難だから普通湯二升に石
けん五匁の割合に溶かした
液に初め袋を浸し乾燥して
用ひれば開袋石けん液を浸
したのと同じになる、右
の様に薬剤さん布と袋掛に
注意すれば廿世紀栽培も左
程困難ではない

お醤油はヤマフル

醤油 味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社

福島縣 平野町
電話(本) 二七〇番

スペイン G.H.N 元 詰
甘味 葡萄酒
ゴルフ ポート ワイン
¥ 1.10

御婦人の方には少し水を加へて
召し上るミ風味一そう作ります

(平二) 西村屋藥舖 (電三)

ガソリン
モビール油
日本石油株式會社

特約販賣
屋間油
店商内關

支店 郡山市 電話三三二八
支店 茨城縣 電話三三三三
支店 平野町 電話三三三三

電話 四六一一 電話 四六一一

債券、公債、兩替、金融

多田井質店

平野町 大工町
電話 五九一番

時局重 景氣漸く回復の兆候新
内閣の施政や如何に對
大の秋 滿政策刻々のニュー
ラデオー A三十三圓 附贈工
ラデオー B三十三圓 附贈工
ラデオー C三十三圓 附贈工
月賦、日掛 五球、七十五圓 一切
歡迎 富永ラデオ店

平野町(電話四九六番)

芳銘酒

倍舊の御引立仰ぎ度奉懇願候

白馬の雪營業所

長の日本松本徳一
電話(五) 四六六(營業所)
電話(二) 八五五(本店)

平野町二丁目一

内科、小兒科
外科、産科、婦科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

高久 病院
院長 高久忠

平野、電話五二三番

景氣好轉の大賣出し

諸物價の上値向を差ひかへて
實用家具、漆器、雜貨

本年の**大廉賣**

最終の**大廉賣**

十一月十七日から三十日まで

平野町 本丸はん家具店
電話三五九番

三丁目

○二十八日マデ

モリタヤ洋品店
平野町 電話三五三

小平町教育會

新いわき新聞社

後援 新いわき新聞社

注意二、入選及佳作に對しては加除せず

小平町教育會

新いわき新聞社

後援 新いわき新聞社

注意二、入選及佳作に對しては加除せず